



## 概要

- 直達日射計CHP1は開口角5° から入射する直達放射を測定するよう設計されています。
- 精密な開口部や入射チューブでディテクターにより構成され、開口部にはクォーツガラスが採用され、200nm~4000nmの放射を透過しています。
- レインカバーと照準が付属します。
- CHP1はCH1を基に作られた日射計で、CH1を改良し信頼性、耐久性を向上させました。
- 受感部は日射計CMP21やCMP22と同様周囲温度の影響を最小にし応答速度も早くなっています。
- Pt-100と10kΩサーミスタ温度センサーは標準装備されており個々の温度データを出力できます。
- 新しく設計された信号ケーブルコネクタとネジ式の乾燥剤カートリッジによりメンテ

## 用途

CHP-1は全天候型の直達日射計で長期間屋外で連続して直達日射量を観測することができます。高精度大気放射観測網BSRN (Baseline Surface Network) の必要条件、高精度、安定性、長期観測を満たしており、気候変動の観測に役立ちます。工業分野では近年太陽電池需要が増えていますが、これらの性能テストにも直達日射計が使われています。

## 仕様

ISO	First Class
応答速度 (95%)	5sec
ゼロオフセット: 5K/hr周囲温度変	±1W/m <sup>2</sup>
非安定性	±0.5% / 年
非直線性(0~1000 W/m <sup>2</sup> )	±0.2%
温度依存性	±0.5%(-20~50°C)
感度	7~14 μV/W/m <sup>2</sup>
インピーダンス	10~100Ω
動作温度	-40から80°C
波長範囲(50%)	200~4000nm
標準放射出力	0~15mV
最大照射放射量	4000W/m <sup>2</sup>
全開口角	5° ±0.2°
傾斜角	1° ±0.2°
重量(ケーブル含)	1kg

- ・ケーブル長10m標準
- ・10kΩサーミスターとPt100Ωの温度センサーは標準で付属します。

## 必要装置

直達日射計は直達光を測定するため太陽に常に正対させなければなりません。そのため太陽追尾装置を使用します。

ブリードでは直達日射量観測のために太陽自動追尾装置を用意しています。

太陽自動追尾装置ASTX-1：標準両軸型の装置です。

太陽自動追尾装置ASTX-2：標準片軸型でオプションで両軸型になります。

(GPS付属で緯度、経度、時間が自動で設定できます。)



## 概要

- 本器は太陽光の直達成分を測定するセンサーで、太陽追尾装置に搭載し連続観測ができます。
- 太陽視野角はWMOに準拠していますが、センサーにサーモパイルを使用しています。



## 仕様

開口角	全角 5°
傾斜角	1°
センサー	サーモパイル
感度波長	300~2800nm
感 度	約10mV/kW/m <sup>2</sup>
応答速度	60秒
検 定	ファーストクラス直達日射計CHP-1と比較検定
主要構成部材質	アルミ
外 形	約 60x270 mm
重 量	約 500g
ケーブル	約 5m

## 概要

- 本器は太陽光の直達成分を測定するセンサーで、太陽追尾装置に搭載し連続観測ができます。
- 太陽視野角はWMOに準拠していますが、本器ではセンサーにシリコンフォトダイオードを使用



## 仕様

開口角	全角 5°
傾斜角	1°
センサー	シリコンフォトダイオード
感度波長	320~1100nm
感 度	0~10mV/2kW・m <sup>-2</sup>
応答速度	1μs
検 定	熱電堆型直達日射計CHP-1と比較検定
主要構成部材質	アルミ